

HANAMIZUKI

はなみずき

学報 Vol.53

2023年

山陽女子短期大学

〒738-8504 広島県廿日市市佐方本町1-1
TEL(0829)32-0909 FAX(0829)32-0981<https://www.sanyo.ac.jp>

発行責任者 室津 史子

印刷 株式会社インパルスコーポレーション



新たな春

新入生の皆さん、山陽女子短期大学へようこそ！ 山陽の丘の学舎は、ハナミズキの花、藤棚の藤の花や緑の木々など、自然の息吹を感じ取ることができる環境になっています。

新年度となり、それぞれに新たな思いを胸にしておられることでしょう。

さて、この数年は新型コロナウイルス感染症という未曾有の国難の中、生活の中で様々な我慢を強いられる状況がありました。当たり前と思っていた日常は、こんなにも脆く崩れ、目に見えない小さなものの脅威を感じる経験でした。しかし、変化や刺激は新たな創造にもつながります。ワクチン開発など、一人ではできないことも多くの専門家達の叡智を集結することで達成できることも知りました。対面授業が当たり前ではなく、オンライン授業などの工夫も生まれました。生きる力とは、変化にいかに対応・適応していくかという知恵であり、行動なのではないでしょうか。このように、私たちはこの数年を乗り越えてきました。

ただ、対面でなければ伝えきれないものがあることも感じられたのではないのでしょうか。様々なものが便利になり、人間の手や口はAIに代行できるものとなってきています。しかし、AIは正確な情報を大量に保持することが可能ですが、連想力や想像力は人間が優れているものではないのでしょうか。そして、感情に基づく緊密なコミュニケーションは人間にしかできないものです。人間には感情があり、創造力や想像力があります。是非、豊かな感性を大事にしてほしいと思います。

本学の実践目標は入学式でも触れたように「愛・優・輝」です。「人を愛し」「人に優しく」「輝く女性に」ということですね。ジェンダーレスや男女共同参画社会といった言葉を耳にすることが多くなってきましたが、女性だからこそ人に優しくということではありません。性に関わらず、人に優しくできる強さを備えるために自らを鍛えていってほしいと思います。そのためには、まず周りの身近な人たちに挨拶し、声の調子や表情を読み取り、心地よさはどのような声掛けや表情から生まれるのかを体験する日常から始めてみましょう。大きな声を出さない生活が続きましたが、工夫する知恵や方法も知っているのですから、そろそろしっかりと互いの声を聞きましょう。そして人間の持つ感情を敏感に捉え、コミュニケーション力を高め、より豊かな学生生活にしてください。今後の実りにつながる新たな春でありますように。



学長
室津 史子

桜 退職にあたって 本学の教育目的について

山女での12年間、とりわけ学長(兼教員)としての11年間は、緊張の連続であったが、とても充実した時でもあった。就任当時は「短期大学の今後のあり方」について議論されていた頃であったので、関係資料を参考にし、ひとり一人に寄り添った教育と教育の質を高めるべく実施計画を立て、履行状況を確認しながら進めた。教育の基本となる3ポリシー(DP,CP,AP)とアセスメントポリシー及び授業評価アンケートも点検しながら進めた。これらのポリシーは本学の教育目的の「教養と専門基礎教育の徹底」にもつながっている。また、専門性を高めたい学生のため、編入学推奨制度を設けている。



前学長
石永 正隆

教育目的の一つ地域貢献は軌道に乗っている。地域連携センターを設置し、生涯学習部門、産学連携部門、自治体連携部門を設け、毎年活動報告書を発刊し関係機関に配布している。2013年に廿日市市と包括協定を結び、食品会社とのコラボによる新商品の開発を行ったり、地元佐方自治会の各種イベントに本学学生がボランティアとして参加している。また、地域の一人暮らしの高齢者を招いて食事会を催したり(コロナ禍では弁当の配布)、廿日市応援隊「山女姫」を結成し、廿日市市商工会議所とタッグを組み廿日市市を更に発展させるために学生目線で市内各地域の見所や食べ物を紹介する活動等を行っている。

本年は創立60周年で節目の年である。これからも上に記した本学の特長を活かし、地域に無くてはならない短期大学として、十分に役割を果たせるよう更なる発展を願っている。

在職中は教職員の方々ならびに学生の皆さん、及び地域の方々に支えて頂いたことに感謝します。

上に立つ人は 仕える者のようにになりなさい(聖書)

愛優輝 新芽の息吹に 心もゆ

桜 副学長就任のご挨拶

この度副学長を拝命いたしました臨床検査学科の三島清司と申します。

40年近くを病院で臨床検査技師として過ごしてきました。これまでの経験を次の世代に伝えたいとの思いから2020年4月より本学に教員として勤務しております。教員としては経験が浅く、大学運営にも不慣れなためご迷惑をお掛けすることも多々あるかと思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

本学はこれまで女性の高等教育の普及や実践的職業教育の場として大きな役割を果たしてきました。しかし、18歳人口の減少、学生のニーズの変化もあり、多くの短期大学が4年制大学へ移行するなど短期大学にとっては厳しい時代となっています。本学も例外ではありません。今後は短期大学の特徴を活かし、社会の変化を誠実に捉え、多くの社会層からの修学ニーズに応え、人材育成に大いに寄与していくべきと考えます。こうした中、本学は室津史子新学長を迎え、新たなステージへと歩み出しました。副学長として学長を補佐し、教職員、学生、地域社会と共に、より良い短期大学の実現に向けて全力を尽くしてまいります。

皆様のご指導とご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



副学長
三島 清司



卒業式





2022年度 スポーツ大会

体育局 局長
臨床検査学科 臨床検査コース3年
吉村 茉紘

2022年6月17日に学内でスポーツ大会を開催しました。今年度もコロナの影響により制限されることが多く、何度も壁にぶつかりました。その度に話し合いをし、制限がある中で少しでも多くの学生に楽しんで貰えるよう企画運営を行いました。

少人数のチームと複数の競技を用意し、ローテーション形式で接触を最低限にすることで感染対策をしながらスポーツ大会を実行することができました。色々な場所から盛り上がっている声を聞くことができ、とても嬉しく、企画して良かったと達成感を得ることができました。例年とは違った形になりましたが、大会を盛り上げ、協力してくださった皆さん本当にありがとうございました。



第59回(2022年度) 陽月祭

第59期陽月祭(大学祭)実行委員会 委員長
食物栄養学科 栄養管理コース(2023年3月卒)
吉田 和佳奈

第59回陽月祭を終えて

コロナ禍での3年ぶりの陽月祭開催となりました。

短大ということもあり、誰も従来の陽月祭を知り得ない中での開催は、心配や戸惑う事ばかりでした。私自身、以前学んでいた栄養調理コースで陽月祭を経験したことはありましたが、陽月祭の運営に携わることがなかったので、初めての経験でした。

委員長として、委員全体に従来の陽月祭を伝えるのには苦労がありました。

特に苦労したのは、どの時期にどのように作業して進めておくべきなのかを誰も知らないということです。

本来であれば、会議を重ね、意見を出し合いながら進めていくところですが、なかなか思うとおりに前に進めないことにイライラすることもありました。特に、ステージ企画は、内容等を決めるのがギリギリになり、陽月祭前日までバタバタしました。

そんな中でも、局長をはじめとして、各局で話し合いながら乗り越えて最後まで力を合わせ、頑張ってきたことは、私達にとっても、忘れられない思い出となりました。陽月祭を無事終えることが出来たことは、沢山の方々のお陰だと感謝しております。

今年度、陽月祭が開催できて、良かった、楽しかったと言う声も沢山耳にしました。

来年度も陽月祭が開催できることを心から願っております。

人間生活学科

新入生の声

医療事務ビジネスコース 1年 川瀬 愛里



期待と不安を抱えながら迎えた入学式を終え、大学生活がスタートしました。私が大学で頑張りたいことは幅広い専門知識と教養を学んでいくことです。特に、医療事務に関わるさまざまな検定や資格取得を目指しています。また、自分が興味のある分野にも目を向け、幅広い分野の学びを深めていきたいです。生活面では多くの人と交流を大切にしていきたいです。同じ目標を持ち共に2年間を過ごしていく仲間はもちろん、学科や年代を超え、たくさんの出会いを大切に、交流を深めていきたいです。さらに、ボランティアなどにも積極的に参加し、学校の枠を超えた地域の方との交流も大切にしていきたいです。立場や環境、考え方が異なる人との交流を通して、新たな価値観を得るとともに広い視野を身につけていきたいです。

2年間という短い期間を価値あるものにしていくために、学習面でも生活面でも常に全力で取り組み、有意義な学生生活を送ってきたいと思います。

医療秘書実務実習に参加して 医療事務ビジネスコース 2023年3月卒 池田 汐莉



私は医療法人一陽会原田病院で、5日間の実習をさせて頂きました。医事課・医局秘書課・医療サービス課・診療情報管理室の4つの部署で実習をさせて頂き、部署ごとの業務内容やどのような連携がとられているかなど、沢山の事を学ばせて頂きました。

実習中に印象に残った事は、情報共有をすることが重要であるということです。実習中に医事課のミーティングの様子を見学させて頂きました。ミーティングでは業務を行うにあたっての改善策など様々なことを話し合われておられました。このような取り組みが病院の運営や患者様へのより良い医療サービスに繋がっていくことを感じました。

今回の実習は先輩方が体験した実習とは違いコロナ禍での実習であった為、直接患者様と関わることはありませんでした。しかし、医療事務の患者様の対応以外の裏側の仕事を深く知ることができる良い経験となりました。

この実習で学んだ沢山の事を就職先で活かしていきたいと思っています。

特論発表会

人間生活学科での学びの集大成の一つである「2022年度特論発表会」を、2月8日に開催しました。この発表会は「〇〇特論」と呼ばれる問題発見、解決、プレゼンテーションなどの能力を養うことを目的とした講義の一環として行われています。

発表内容は2年生がそれぞれ興味のあるテーマについて担当教員の指導の下で調査、研究、制作した結果です。今年はLGBTQやSDGsなど近年話題になっているテーマの他、医療現場の現状や日韓のドラマに関するものなど、非常に多岐にわたるものでした。

昨年までは新型コロナウイルスの感染が拡大していたために、1年生はリモートでの参加でした。しかし今年は1年生も同じ会場で、先輩たちの発表を生で見聞きすることができました。彼女たちにとって、4月から始まる特論のきっかけになることを期待します。

そして発表を終えた2年生にとっても、これから始まる新しい人生をよりよくする手掛かりになりますことを祈っております。

テーマ

- 地域医療情報連携ネットワークの現状と課題
- 病院給食の実態
- 保険証としてのマイナンバーカード活用について
- オンライン診療の未来
- 光免疫治療法
- -がん治療に新たな選択肢-
- 人の期待に応えるのが疲れた人へ
- -自分で精神を追い詰めないように-
- 生理痛の知識を深める
- 関節リウマチはどんな病気?
- 聴覚障害について
- パートナースHIP宣誓制度について
- 涙の効果について
- 嫌いな動物について
- 女子大生の古い事情
- トナラーの心理
- -不快に思うのはなぜ-
- 韓国・中国・日本の恋愛ドラマ比較
- 動画配信サービスについて
- なぜ韓国ドラマは人気なのか
- 推理小説の魅力
- SDGsについて
- LGBTQを知ってもらうためのポスター制作



春季インターンシップに参加して

人間心理コース 2年 矢田 歩夏



私は、春季休業中に放課後等デイサービスを行っているLIFE広島島3日間のインターンシップに参加しました。

知的に障がいがある子どもたちとサッカー療育を通して触れ合いました。それぞれの課題を見つけ、その子にあった声かけができるよう自分なりに考えて行動することができました。子どもたちの来所前にも様々な活動をさせていただきました。活動の一つであるゲームの中で“これからの人生への考え方を考え、可能性を広げることができる”というメッセージがあり、子どもたちとの関わり以外の場面でも自分にとっての学びがありました。

私がインターンシップに参加する前に立てた目標は“何事も積極的に行動し、3日間楽しむこと”というものでした。分からないことは積極的に質問して行動し、やりがいを感じる事ができました。インターンシップを通して間違いなく成長することができたと思います。

この学びを今後の就職活動に活かしていきたいです。

食物栄養学科

新入生の声

栄養調理コース 1年 大方 るり



入学時、オリエンテーションでの説明で、今まで経験したことのない履修科目の登録やパソコンでの課題の提出などがあり、初めてのことはばかりで授業についていけるだろうか、最初は不安でいっぱいだった。短大生活でした。

少しずつ授業や実習が始まり、コックコートを着て包丁砥ぎやフライパンの扱い方を学習して、専門的知識と技術を学びに来ているのだと実感が湧いてきました。今では友達もでき、わからないことは友達やチューターの先生に確認して、短大生活にも少しずつ慣れてきました。

短大で過ごす2年間はとても短いものだと思います。一日一日を大切に、資格取得に向けて努力していきたいです。また、学校行事にも積極的に参加し、最後の学生生活を楽しく充実したものにしていきたいと思っています。

卒業制作展および作品展

2月5日に、毎年恒例となっている「卒業制作展および作品展」を開催しました。

栄養調理コース2年生による2年間の学習の成果を発揮した個人・製菓作品と、栄養調理コース1年生によるグループ作品の展示をしました。

また、ひろしま地域食材PR推進事業参画試食展示会も同時開催しました。

お越しくださりました皆様ありがとうございました。



栄養士実力認定試験を終えて

栄養管理コース 2023年3月卒 木谷 瑞希



私は、栄養士実力認定試験の1カ月前から勉強を始めました。初めは、5年分位の過去問に取り組み、間違えた問題をノートに書き出していつでも見返せるようにしました。過去問は3～4回解きました。何回も解いていくうちに自分の苦手なところが分かり勉強しやすかったです。

また、栄養管理特論という講義も受講していました。講義では過去問を解いて、先生方が解説してくださるため、分からない問題も理解することができました。

その結果、試験では良い点数を取ることが出来たのでとても嬉しかったです。

校外実習を終えて

栄養管理コース 2023年3月卒 南 玲依那



私は、陸上自衛隊海田市駐屯地で5日間実習させて頂きました。現場では料理ごとのグループに分かれ、調理を行いました。600～700人規模の大量調理で、学校で行った給食調理実習の何倍もの量の調理を経験しました。大量調理をするにあたり、学校での衛生管理に関する授業が大いに役立ちました。特に、こまめな手洗いや作業場を清潔に保つことが印象に残りました。衛生管理だけでなく、美味しく、温かい食事を提供できるように、食材の色が悪くならないように工夫したり、提供するまで保温庫に保存したりしていました。また、食事を提供した時の「ありがとう」は実習のやりがいに繋がりました。

現場の栄養士、調理師の方々の丁寧で効率の良い動きを目の当たりにすることは栄養士を目指す私にとって、とても良い刺激になったと共に、貴重な経験をさせて頂いたと思います。今回の経験を社会に出て活かせるよう、卒業後も学ぶ姿勢を忘れずに頑張りたいです。

臨床検査学科

新入生の声

臨床検査コース 1年 上西 望生



入学時、私は新しい生活に不安と期待を抱いていました。慣れないパソコンの操作や、高校生活とは違う授業のあり方などに、私は焦りを感じていました。しかし、分からない所を先生方に質問させてもらい、丁寧に教えていただきました。新型コロナウイルスが収まりつつありますが、気が抜けない状況下の中で、先輩方がオリエンテーションを開催してくださいました。先輩方と関わる機会があり、大学生活を過ごす中で多くの人に助言をしていただき、活用させてもらっています。また、友達を作るきっかけにもなったため、とても有意義な時間を過ごす事ができました。多くの方に支えてもらい、これからの大学生活に希望が持てました。

90分という授業の長さや、初めて教わる科目にはまだ慣れませんが、今では3年間の高校生活が一瞬のように感じ、同じ3年間でも大学ではより短く感じると考え、1日1日を大切に、臨床検査技師を目指し頑張っていきたいと思います。

1年次を終了して

臨床検査コース 2年 中嶋 素羅



去年の4月に入学し1年が経ちました。入学当初は、専門教科や実習など初めてのことに苦戦しましたが、仲間たちと協力し先生方のサポートを受けながら過ごすことで少しずつ環境に慣れ、日々臨床検査技師になれるように頑張っています。

1年次から学生消防団で、地域の方々に救命措置を体験してもらう活動をしたり、SRVという山陽女子短期大学独自のボランティアサークルで、献血活動や骨髄ドナー登録のボランティアに参加しました。自分の呼びかけや説明で献血をしようと思ってもらえたり、救命措置や骨髄ドナーなど自分の学んだことを人から人へ共有出来ることを経験し、ボランティアには人への影響力があることを実感しました。

今年から2年生としてより専門的な教科や実習がありますが、周りと一緒に切磋琢磨しながら頑張っていきたいです。また、1年次に参加出来なかったボランティア活動に参加し、新しいことに挑戦していく1年にしたいと思います。

臨地実習に向けて

臨床検査コース 3年 岡田 敦希



COVID-19感染拡大により対面授業もままならない状態が続いていた昨今、臨地実習に行く機会をいただくことになりました。

この2年間で、入学前に知っていた臨床検査技師の仕事内容より、はるかに多くの業務があることを学びました。座学や校内実習で基礎を理解し、広島県医学検査学会への参加で病気や検査への向き合い方を教わり、考え、またボランティアへの参加では、骨髄や献血のドナーが不足している実態を知りました。中でも外部講師を招いたキャリアアップセミナーでは「新人でも患者さんから見ればその道のプロ」という言葉が強く心に残っています。

学生だからという免罪符を捨て、患者さんのことを第一に考える医療人として臨地実習に臨む必要性を感じました。検査やデータの知識はもちろん、患者さんや病気への理解を深め、学内では体験できない病院ならではの学びを大切に、しっかりと頭と体に刻み込み、価値ある臨地実習にしたいと思います。

ここからがスタート

臨床検査コース 2023年3月卒 喜友名 ルカ



私は南国沖縄から、他県の短大卒業後、臨床検査技師の資格を取得する為に、山女へ入学しました。単独で学校見学に申し込み、学校の雰囲気と先生方のアットホームな印象で、ここにしようと決めました。

入学当初からコロナ禍のため、授業も実習も変則的で、先生方も学生も初の体制で試行錯誤が続きました。2年目は、専門的な知識と実習に追われ大変でしたが、友達と協力し、ひたすらレポートや課題をこなしました。3年目には短期間ながら臨地実習にも行き、検査室を体験し、学校では定着しにくかった知識を驚くほど吸収できました。今思えば、もっと詳しく調べたり、先生に聞けば良かったと思うことは多々あり、基礎的な知識をしっかりと備えたうえで実習に臨めば良かったと思いました。最後の山である国家試験も、特講や補習で乗り越えることができました。

4月からは広島で病院勤務のスタートです。改めて、広島にそして山女にして良かったと感じています。

就職活動頑張りました



人間生活学科 医療事務ビジネスコース
2023年3月卒 上田 七々羽

■就職先／株式会社 ホンダ四輪販売西中国

私は短大の同級生より少し早く1年次の秋頃から少しずつ就職に向けた情報収集を始めました。高校時代の同級生に、四大進学者が多く、早い時期からインターンシップや会社説明会などの情報を耳にする機会があり、具体的な将来の自分のビジョンを明確にする為に時間を多く費やしました。受付や事務、販売等、職種を何度も変更しながら自分が納得できるまで考えました。その結果、自分には対人と事務の両方の面から業務を行える仕事があると考え、その条件に合った会社で8月に無事内定を頂きました。

学んだことや資格を活かして貢献していきます。



臨床検査学科 臨床検査コース
2023年3月卒 北田 理沙子

■就職先／広島市立北部医療センター安佐市民病院

私は幼少期の頃に患者としてお世話になった広島市立病院機構で、今後は臨床検査技師として恩返しをしたいと思い、志望しました。7月下旬ごろから願書の作成を始めて、8月は面接練習や専門試験の対策をしていました。先生方には何度も面接練習をしていただき、本番では緊張している中でも落ち着いて受け答えをすることができました。就活中は不安でいっぱいでしたが、多くの先生方にサポートしていただき、9月下旬に無事内定を頂くことができました。

今は日々研修で覚えることが多く大変ですが、先輩方からご指導をいただきながら頑張っていきます。



食物栄養学科 栄養調理コース
2023年3月卒 片山 友希

■就職先／ANAクラウンプラザホテル広島

私の夢はホテルの厨房に入ることでした。ホテルからの求人は少ないのですが、継続的に就職活動を行いました。

ホテルからの求人があった時には試験まで時間がなかった為、すぐに準備と対策を始めました。就職活動の中で重要視したことは面接です。その時に自分がどんな人と一緒に働きたいか、どんな第一印象の人を採用するかという立場で考え面接練習に取り組みました。暗記した文を言うのではなく、自分の言葉でその時に思ったことを伝える方が良いと思い、失敗を恐れず自分がホテルで働きたい意思をしっかりと伝えました。

これからは社会の一員としての自覚と責任を持ち、採用して下さった会社にはしっかり貢献できるように腕を上げていきたいです。



専攻科 診療情報管理専攻
2023年3月卒 藤本 優花

■就職先／ニチイ学館 広島支店

私は7月に就職活動を始め、9月に内定をいただきました。就職試験までの間に、履歴書等の作成や面接練習を行いました。私は緊張してしまうとうまく話すことができなくなるため、先生方に何度も面接練習をしていただきました。また学校だけでなく帰宅後も自宅でも面接の練習を行い、なるべく緊張しすぎないように意識していました。そのおかげで当日は落ち着いて試験に臨むことができました。

短大生活の中で取得した資格や学んだことを実際の現場で活かせるように、就職先でも常に向上心を持って頑張っていきたいと思います。

成績優秀者表彰

人間生活学科

- 医療秘書実務士
(日本医療福祉実務教育協会 表彰)
人間生活学科 医療事務ビジネスコース 池田 汐莉
- 診療情報管理実務士
(日本医療福祉実務教育協会 表彰)
人間生活学科 医療事務ビジネスコース 上野 柚香
- 医師事務作業補助実務士
(日本医療福祉実務教育協会 表彰)
人間生活学科 医療事務ビジネスコース 上野 柚香
- メディカルクラーク優秀賞
(日本医療教育財団 表彰)
人間生活学科 医療事務ビジネスコース 内田 奈歩
人間生活学科 医療事務ビジネスコース 唐本 優有菜
- ピアヘルパー
(日本教育カウンセラー協会 会長賞)
人間生活学科 人間心理コース 中田 萌

臨床検査学科

- 日本臨床衛生検査技師会 会長賞
臨床検査学科 臨床検査コース 竹本 真夢香

食物栄養学科

- 全国栄養士養成施設協会 会長表彰
食物栄養学科 栄養管理コース 木谷 瑞希
- 社団法人全国調理師養成施設協会 会長表彰
食物栄養学科 栄養調理コース 森野 千慧
- 社団法人全国調理師養成施設協会 技能奨励賞
食物栄養学科 栄養調理コース 辰見 しおん
食物栄養学科 栄養調理コース 森野 千慧
- 日本フードコーディネーター協会 理事長賞
食物栄養学科 栄養調理コース 森野 千慧
- 日本フードコーディネーター協会 協会賞
食物栄養学科 栄養調理コース 辰見 しおん
- フーズベシャリスト協会 表彰
食物栄養学科 栄養管理コース 吉田 和佳奈
- 食品科学教育協議会 表彰
食物栄養学科 栄養管理コース 吉田 和佳奈

資格取得者数

資格	人数	資格	人数
医療秘書実務士	22	ビジネス実務マナー技能検定 2級	4
医師事務作業補助実務士	7	ビジネス実務マナー技能検定 3級	2
診療情報管理実務士	10	ビジネス文書検定 2級	3
医事実務士	3	秘書技能検定 2級	10
医事コンピュータ実務課程修了	22	秘書技能検定 3級	11
電子カルテ実務課程修了	18	サービス接遇実務検定試験 2級	8
ICDコーディング実務課程修了	11	サービス接遇実務検定試験 3級	2
診療報酬請求事務能力認定試験	1	日本語ワープロ検定 1級	1
メディカルクラーク	24	日本語ワープロ検定 準1級	3
ドクターズクラーク	6	日本語ワープロ検定 2級	7
がん登録実務初級認定試験	6	日本語ワープロ検定 準2級	15
ピアヘルパー	4	日本語ワープロ検定 3級	9
秘書士	6	情報処理技能検定 表計算 1級	5
ビジネス実務士	2	情報処理技能検定 表計算 準1級	5
情報処理士	13	情報処理技能検定 表計算 2級	5
栄養士免許	25	情報処理技能検定 表計算 準2級	8
調理師免許	8	文書デザイン検定 1級	6
フードコーディネーター 3級	4	文書デザイン検定 2級	8
フーズベシャリスト	10	文書デザイン検定 3級	4
フードサイエンティスト	11	プレゼンテーション作成検定 1級	3
新調理システム管理者	34	プレゼンテーション作成検定 2級	2
食育インストラクター	2	実用英語技能検定 2級	1
臨床検査技師	32	簿記検定 3級	1
社会福祉主事任用資格	94		

役職教職員紹介



学 長
室津 史子



副学長・臨床検査学科長
三島 清司



人間生活学科長
高田 晃治



食物栄養学科長
鈴木 理



教務部長
水野 敦子



学生部長
小野寺 利恵



デジタル学習センター長
鵜根 弘行



ALO
藤井 仁人



地域連携センター長
金岡 敬子



事務局長
沖 栄治

人 事

〈退職〉令和5年3月31日 学 長 石永 正隆

〈採用〉令和5年4月1日 学 長 室津 史子
食物栄養学科准教授 有吉 邦江
食物栄養学科助手 近藤 三聖

無人
コンビニ
サービス

Open! /
「スマートセルフ」

令和4年9月21日に食堂『Sun Cafe』内にてプラの無人コンビニサービス「スマートセルフ」がオープンしました。

コンビニならではの多彩な商品に加え、『商品要望ノート』に置いて欲しいものを記載することで、学生のニーズにあった商品を取り揃えています。



令和4年度事業活動収支計算書(山陽女学園)

(R4.4.1~R5.3.31) (単位:千円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	決 算
		学生生徒等納付金	661,132
		手数料	11,041
		寄付金	3,920
		経常費等補助金	362,592
		付随事業収入	48,868
		雑収入	18,824
		教育活動収入計	1,106,377
	事業活動支出の部	人件費	661,286
		教育研究経費	334,223
		管理経費	173,035
		徴収不能額等	0
		教育活動支出計	1,168,544
		教育活動収支差額	△62,167
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	43
		その他の教育活動外収入	0
		教育活動外収入計	43
	支出の部	借入金等利息	821
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	821
		教育活動外収支差額	△778
		経常収支差額	△62,945
特別収支	収入の部	資産売却収入	0
		資産売却差額	0
		その他の特別収入	489
		特別収入計	489
	支出の部	資産処分差額	24,866
		その他の特別支出	0
		特別支出計	24,866
		特別収支差額	△24,377
		〔予備費〕	
		基本金組入前当年度収支差額	△87,321
		基本金組入額合計	△3,204
		当年度収支差額	△90,525
		前年度繰越収支差額	△2,573,219
		基本金取崩額	32,017
		翌年度繰越収支差額	△2,631,728
		(参考)	
		事業活動収入計	1,106,909
		事業活動支出計	1,194,230

令和4年度貸借対照表(山陽女学園)

(R5.3.31) (単位:千円)

資産の部		負債・基本金・繰越収支差額の部	
科 目	4年度末	科 目	4年度末
固定資産	3,490,029	固定負債	160,989
有形固定資産	2,847,591	流動負債	169,515
特定資産	639,426	負債の部 合計	330,504
その他の固定資産	3,012	基本金	7,205,217
流動資産	1,413,964	繰越収支差額	△2,631,728
		翌年度繰越収支差額	△2,631,728
		純資産の部 合計	4,573,489
資産の部 合計	4,903,993	負債及び純資産の部 合計	4,903,993

※財務関係書類につきましては、学校法人山陽女学園情報公開取扱規定に基づき閲覧することができます。